

様式第3号(第12条関係)
審議会等の会議の記録

会議の名称	令和5年度第1回伊勢崎市まち・ひと・しごと創生会議
開催日時	令和5年8月18日(金)午後2時00分～4時30分
開催場所	伊勢崎市役所 東館5階第1会議室
出席者	<p>(委員) 大下会長、中西副会長、加藤委員、尹委員、羽鳥委員、大沢委員、備前島委員、久保田委員、重田委員、赤尾委員、氏原委員</p> <p>(本部長) 総務部長、企画部長、財政部長、市民部長、環境部長、健康推進部長、福祉こども部長、長寿社会部長、産業経済部長、農政部長、建設部長、都市計画部長、教育部長</p> <p>(説明員) 高齢政策課長、地域包括支援センター所長、産業経済部副部長、商工労働課長、企業誘致課長、文化観光課長、農政部副部長兼農政課長、農村整備課長、道路維持課長、住宅課長、都市計画部副部長兼区画整理課長、中心市街地整備事務所長兼都市開発課長、交通政策課長、公園緑地課長、教育施設課長、学校教育課長、生涯学習課長、健康給食課長</p> <p>(総合計画等策定支援業務委託事業者) 有限責任監査法人トーマツ 塚越様、吉田様</p> <p>(事務局) 企画部副部長、企画調整課長、企画調整課係長、企画調整課職員</p>
傍聴人数	1名
会議の議題	<p>(1) 第2期伊勢崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証及び改訂方針について</p> <p>(2) 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証について</p> <p>(3) 令和4年度地方創生推進交付金事業の効果検証について</p> <p>(4) 令和4年度企業版ふるさと寄附金活用事業の効果検証について</p>

<p>会議資料の内容</p>	<p>[資料1] 第2期伊勢崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証及び改訂方針について</p> <p>[資料2] 第2期伊勢崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略効果検証シート</p> <p>[資料3] 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証について</p> <p>[資料4] 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金効果検証シート</p> <p>[資料5] 令和4年度地方創生推進交付金事業の効果検証について</p> <p>[資料6] 令和4年度企業版ふるさと寄附金活用事業の効果検証について</p>
----------------	--

<p>委員会議における議事の経過及び発言の要旨</p>	<p>1 開会</p>
	<p>2 委嘱状交付 欠席した山田委員を除く 11 名に委嘱状を交付した。</p>
	<p>3 市長あいさつ</p>
	<p>4 委員自己紹介</p>
	<p>5 会長・副会長の互選 互選の結果、会長は帝京大学の山下委員、副会長は区長会長の中西委員に就任頂くことになった。</p>
	<p>6 会長あいさつ</p>
	<p>7 会議運営に関する確認事項について 会議時間や会議情報の公表について確認した。</p>
	<p>8 議事 (1) 第2期伊勢崎市まち・ひと・しごと創生総合戦略の効果検証及び改訂方針について ○資料1、資料2により説明（有限責任監査法人トーマツ 塚越様） 【質疑・意見等】 <会長> 効果検証では、「効果があった」「一定程度効果があった」「あまり効果がなかった」「効果がなかった」の4項目から評価を決定する。各委員からは、この4項目をもとに意見をいただきたい。 ①しごとの創生 <委員> コロナ禍による進捗遅れについては、ほとんどのKPIの実績が目標値に対して6割～8割は達成しており、コロナ禍がなければ達成できていたと考えられる。そのため、まずまずの進捗であり、一定程度効果はあったと考えられる。また、数値目標の新規求人数は、どのように把握しているのか。 <事務局> ハローワークが毎月公表している月報から算出している。12か月分を合計し、12で割った平均値としている。 <委員> キーワードは「関係人口」だと思う。伊勢崎市においては、どのように定義して戦略に使用しているのか。 <事務局> 「関係人口」の定義は自治体によりまちまちではあるが、伊勢崎市では、移住支援事業補助金の関係人口に関する要件として、「転入日の前日を含む5年間において、ふるさと納税制度を利用し、本市に寄附をした実績がある者」などを定めており、これが伊勢崎市としての関係人口の具体例になると思う。</p>

<委員>

コロナ禍の影響で進捗はあまり良くなかったと思うが、コロナ禍の前に作った戦略であるため、一定程度効果はあったと見なさざるを得ないと考えられる。

<委員>

新規求人数は、コロナ禍で進捗の遅れこそあるが、目標値に対してこの程度の水準であれば効果はあったと思う。創業相談件数は、目標値を上回っている。説明会の参加者数は対面での実施はできなかったため、目標値を下回っているのも致し方ない。ワークライフバランスはコロナ禍であっても、年々ある程度の成果が上がっているように思う。移住相談会等の参加者数は、目標値を上回っており、効果があったと思う。

総じて、「安定した雇用の創出」については一定程度成果があったと評価できるのではないかと。「ひとの流れの創出」については全国的に仕方ないところではあるが、コロナ禍において37万人来てくれたことについて、コロナ禍でどうして伊勢崎に来たのかを分析し今後につなげていきたい。

<会長>

3名の委員から「一定程度効果があった」と評価いただいた。地方創生に資する計画として、しごとの創生については、一定程度効果があったと評価してよいか。

(異議なし。創生会議としての評価を「一定程度効果があった」に決定。)

②ひとの創生

<会長>

ひとの創生についても、コロナ禍の影響こそあったとしても一定程度効果はあったと思われる。

<委員>

数値目標の合計特殊出生率は見直す対象になると思うが、目標自体が意欲的であり、達成度合いを評価対象にする必要はないのではないかと。それ以外はかなりしっかりできているという印象を受けており、住みやすいまちになっていると思う。「一定程度効果があった」と「効果があった」の中間くらいだと思うが、数値目標の見直しを前提に考えて、「一定程度効果があった」と考えたい。

<委員>

目標値が意欲的ではあるが、現状の数値を見ても一定程度効果があったとしたい。

<会長>

合計特殊出生率を数値目標に設定した理由は何か。

<事務局>

子育て支援全体の成果を測るために設定した。

	<p><会長> 合計特殊出生率については、もう少し細かいレベルの数値目標を設定した方がよいと思われる。</p> <p><会長> 地方創生に資する計画として、ひとの創生については、一定程度効果があったと評価してよいか。</p> <p>(異議なし。創生会議としての評価を「一定程度効果があった」に決定。)</p> <p>③まちの創生</p> <p><会長> まちの創生についても、コロナの影響こそあったとしても効果はあったと思われる。また、まちの創生は、達成するだけでなく維持することが大切である。それを踏まえても、「効果があった」としてもよいのではないか。</p> <p><委員> 評価を「進捗の遅れ」としているものは、かなり控えめな評価になっていると思う。コロナ禍の影響も加味すると「効果があった」としてよいのではないか。一つ意見を述べさせていただくと、空き家対策の推進については「概ね順調である」としているが、空き家の処分をKPIにしているところが少し気になった。市として空き家になりそうな家屋に対する助成や空き家の利用をもっと考えてもいいのではないか。</p> <p><委員> 刑法犯認知件数の細かい内訳、特に外国人の刑法犯の認知件数が分かれば教えていただきたい。</p> <p><事務局> 外国人の刑法犯の認知件数は把握していないが、外国人の犯罪件数は増えていると感じており、警察署と連携しながら犯罪予防について検討している。警察署も取り調べの通訳のサポートが求められている。実際、市が把握している外国人の数よりもっと多い外国人が住んでいるという情報も寄せられており、その辺りについては対策を検討しているところである。</p> <p><委員> コミュニティバス利用者数が目標に達しなかったのは、外出しないことが市民に定着してしまったのが原因だが、新しい生活様式の中での高齢者等の買い物難民対策について、タクシー利用への助成金等を検討いただきたい。</p> <p><会長> 地方創生に資する計画として、まちの創生については、効果があったと評価してよいか。</p> <p>(異議なし。創生会議としての評価を「効果があった」に決定。)</p>
--	---

④総合戦略の改訂方針

<会長>

総合戦略の改訂について、事務局の説明のとおり進めることとしてよいか。

(異議なし。総合戦略の改訂方針を決定。)

(2) 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証について

○資料3、資料4により説明(企画部長)

【質疑・意見等】

①感染防止対策・社会活動再開支援

<委員>

感染防止対策・社会活動再開支援の3事業は、全て充分目的に対応できているので、効果があったと判断していいと思う。その上で、機器を導入した事業については、今後も機器を活用できるようフォローをしていただきたい。

<会長>

新型コロナウイルス感染症対策として、感染防止対策・社会活動再開支援の事業は効果があったと評価してよいか。

(異議なし。創生会議としての評価を「効果があった」に決定。)

②事業者への支援

<委員>

小規模事業者サポート補助金事業は、大変助かったという声を聞いている。効果があったと思う。

<会長>

新型コロナウイルス感染症対策として、事業者への支援は効果があったと評価してよいか。

(異議なし。創生会議としての評価を「効果があった」に決定。)

③物価高騰に直面する生活者支援、④原油価格高騰等に直面する事業者支援

<委員>

物価高騰により企業の負担が増大する中での支援は助かったという声を聞いている。特にエネルギー価格の高騰で製造業等への影響が大きい中、補助金等の支援を行ったのはかなり効果があったと思う。

<委員>

肥料や飼料の価格が高騰しているが、農産物は高騰分を価格へ転嫁することが難しく、生産者は疲弊している。そのような状況で支援があったことは、大変ありがたいという声を聞いている。効果があったと思う。

<会長>

物価高騰に直面する生活者支援及び原油価格高騰等に直面する事業者

支援は、一括して効果があったと評価してよいか。

(異議なし。創生会議としての評価を「効果があった」に決定。)

(3) 令和4年度地方創生推進交付金事業の効果検証について

○資料5により説明(企画部長)

・まちなか創業とにぎわい創出を核とした官民連携による持続的経済活力向上プロジェクトでは、事業の改善に向けて、支援制度の周知や官民連携による創業サポート体制の強化に取り組むために、令和6年度事業費の増額を計画している旨を説明した。

・Made in いせさき しごと創生プロジェクトでは、更なる販路拡大支援を図るために、市内製造業者のマッチング用ポータルサイトである「いせさきものづくりネット」を改修するため、令和6年度事業費の増額を計画している旨を説明した。

【質疑・意見等】

①まちなか創業とにぎわい創出を核とした官民連携による持続的経済活力向上プロジェクト

<会長>

達成できなかった成果目標はあるものの、まちなかワークショップ参加者数とまちなかにおけるにぎわいづくりに資する事業への来場者数は目標を達成しており、かなりの関心を集められる事業になりつつあると評価できる。総じて、まちなか創業とにぎわい創出の推進には効果があったと言えるのではないか。

(異議なし。創生会議としての評価を「効果があった」に決定。)

②Made in いせさき しごと創生プロジェクト

<委員>

成果目標「製造品出荷額等」については、半導体不足の影響もあり、コロナ禍前の状況には今でも戻っていないため、やむを得ないと考えられる。その上で、市内・県内展示会での新規契約数や移住相談会等の参加者数は目標を達成していることから、一定程度効果があったと評価してもよいのではないか。

<委員>

市内・県内展示会及び県外展示会にはそれぞれ何回開催をし、又参加したのか。

<事務局>

市内・県内展示会は、5月と11月に1回ずつ、合計2回開催した。
県外展示会は、医療関係の展示会であるHOSPEX Japan2022と、メッセ名古屋、機械要素技術展の合計3回に参加した。
会期の間で商談が成立したものを実績としている。

<委員>

展示会を契約に繋げるのは簡単な事ではない。開催・参加回数の割に契約数は十分な実績であり、効果があったと評価していいと思う。

<会長>

一定程度効果があった・効果があったと2つの意見が挙げられた。この事業は令和6年度まで続いていく事業であり、今後への期待の意味も込めて、効果があったと評価してよいか。

(異議なし。創生会議としての評価を「効果があった」に決定。)

③産業ニューノーマル創出事業

<会長>

この事業は評価することが難しく感じる。成果目標の令和4年度実績に「県において集計中」とあるのは、どう捉えればよいか。

<事務局>

この事業は群馬県が主体であり、群馬県の取組の成果目標について、群馬県で集計している状況である。

<会長>

成果目標も群馬県が設定したのか。

<事務局>

群馬県が設定した。

<会長>

成果目標が群馬県のものであり、伊勢崎市分の評価は難しい。資料に記載のとおり、社会課題や地域貢献を念頭においた持続可能な経営や事業展開について考える機会を提供することができたことは成果だと捉えられるが、参加者の満足度等は分からない。「評価なし」という評価はできないか。

<事務局>

資料をもとに、何かしらの評価を頂けるとありがたい。

<会長>

かなり効果があったとは言えないと思う。一定程度効果があったという評価でどうか。

(異議なし。創生会議としての評価を「一定程度効果があった」に決定。)

(4) 令和4年度企業版ふるさと寄附金活用事業の効果検証について

○資料6により説明(企画部長)

【質疑・意見等】

①第3子以降学校給食費助成金事業

<委員>

必要な事業であり、効果はあったと思う。育児には大変な費用がかかるので、第1子、第2子から同様の補助が受けられると、親としては育児の負担が緩和されるのではないか。

<会長>

この事業は、地方創生に資する事業として効果があったと評価してよいか。

(異議なし。創生会議としての評価を「効果があった」に決定。)

②小中学校体育館照明LED化事業

<委員>

LED化により、点灯後明るくなるまでの待ち時間がなくなるのであれば、ありがたい。また、照度が上がり活動しやすくなるのは良い事であり、効果があったと評価できる。

<委員>

各事業に対して寄附金をいくら充てるかについては、決まった考え方や計算式があるのか。

<事務局>

寄附をいただく企業の希望の分野に沿って、当該分野の事業に寄附金を充当している。

<会長>

この事業は、地方創生に資する事業として効果があったと評価してよいか。

(異議なし。創生会議としての評価を「効果があった」に決定。)

<会長>

以上で議事は終了である。各事業について評価を行ったが、全ての事業について「効果があった」「一定程度効果があった」と評価し、「あまり効果がなかった」「効果がなかった」と評価する事業はなかったということで総括としたい。また、成果目標の設定については今後見直していくと共に、達成したからと言って満足するのではなく、維持向上していく事も大事である。継続していく事業については、各担当課により、よりよい市民生活が実現できるよう努力していただきたい。

9 その他

10 閉会

<事務局>

次回の創生会議は、総合戦略の改訂を議題として予定し、令和6年3月下旬頃に書面での開催を予定している。開催決定後、改めてお知らせする。

創生会議の皆様には兼務いただいている総合計画審議会は、ご案内のとおり、第1回を9月25日(月)に開催予定である。近く、開催のご案内を郵送する予定である。